

# 第94期 中間報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

## 目 次

株主の皆様へ……………	1
「TRY1」3事業分野の取り組み……………	3
事業トピックス……………	6
財務ハイライト(連結)……………	7
連結財務諸表……………	9
各事業の概況(連結)……………	10
豊田通商グループのCSR活動……………	13
会社情報、株価／出来高、株式の状況……………	14



取締役社長 加留部 淳

拝啓 株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第94期上半期（平成26年4月1日から9月30日まで）の事業内容をご報告するにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当上半期の経済環境を概観しますと、米国を牽引役として緩やかな回復傾向が続きました。米国経済は、堅調な雇用と株価上昇による資産効果で個人消費が順調な回復を見せました。欧州経済は金融緩和拡大が行われ、底入れ感が見られたものの、低成長に留まりました。また、新興国経済は、インドで政権交代によって消費・投資マインドが改善した一方で、中国経済は

減速、ブラジルはマイナス成長となりました。

こうした中、わが国経済は、設備投資が活発化する一方、消費税率引き上げ後の反動や天候不順により、民需が伸び悩みました。

このような環境のもと、豊田通商グループの当上半期の売上高は石油製品などの取り扱い増加および一部の連結子会社の決算期を統一したことによる影響などにより、前上半期を6,415億円（17.3%）上回る4兆3,548億円となりました。

当期の中間配当金につきましては、前期と比較して1株当たり5円増配の28円とし、支払開始日を11月26日とさせていただきます。

かかる状況下、我々豊田通商グループは「GLOBAL 2020 VISION」に掲げる、バランスの取れた強固な事業ポートフォリオの実現を目指した取り組みを推進しています。

モビリティ分野においては、自動車生産～販売領域に加えアフターマーケット領域へも拡大したサプライチェーンの確立を目指し、市場の伸長が予想される東南アジアで、自動車部品卸売事業会社のボルネオ社（Borneo Technical Malaysia Bhd.およびBorneo Technical Thailand Co.,Ltd.）の発行済み株式の100%を取得しました。加えて、自動車の技術革新に対応するため、レアアース・レアメタルの資源開発や水素ステーションの開設など新たな取り組みも進めています。

一方、ライフ&コミュニティ分野においては、自動車のみならず民生分野でも更なる拡大が見込まれるエレクトロニクス市場で、グローバルに戦える体制を整

備するため、株式会社トーメンエレクトロニクスの株式公開買付け（TOB）を実施いたしました。

また、今後の内需拡大が期待されるアフリカにおいては、CFAO社を通じ世界的な大手小売企業であるカルフル社（Carrefour S.A.）と連携した小売事業の展開に向けてコートジボワールでの店舗建設に着手しました。

アース&リソース分野においては、資源リサイクル事業への取り組みを強化するため、世界第2位のスクラップ事業会社である、ショルツ社（Scholz Holding GmbH）に資本参加しました。今後は、該社と協業して、リサイクル事業を展開する国と、リサイクル対象品目の拡大に取り組んでいきます。

このように海外事業が年々拡大し、事業領域が更に広がる中で、真のグローバル企業として成長していくためには、多様な人材の活用が必要不可欠と考えております。当社は今年度を「ダイバーシティ（多様性）浸透元年」として、国籍、年齢、性別などにかかわらず、多様な人材がその能力をいかに発揮できる環境づくりを各分野で進めていますが、その一環として、平成26年6月の株主総会において、女性2名を含む社外取締役3名を初めて選任いたしました。

当社グループは、「GLOBAL 2020 VISION」の達成を目指し、企業価値向上に向けた取り組みを続けてまいります。

今後とも、株主の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬 具  
平成26年11月

## GLOBAL 2020 VISION

2020年までに3つの事業分野で  
事業ポートフォリオ「1:1:1」を実現

### モビリティ

#### 「次代の自動車の進化」に貢献する事業分野

「モビリティ」分野では、車と「人・社会」の接点における自動車ビジネスの変化とそこから生まれるチャンスを取先取りし、事業の成長と次代のモビリティへの貢献を目指す。

### ライフ&コミュニティ

#### 「生活環境の向上」に貢献する事業分野

「ライフ&コミュニティ」分野では、豊かな社会づくりに貢献する価値創造企業として、「人・社会」により役に立つ多彩な価値を提供する事業の創造と拡大を目指す。

### アース&リソース

#### 「地球課題の解決」に貢献する事業分野

「アース&リソース」分野では、食料・資源・自然環境などにかかわる「地球課題」と向き合い、豊田通商グループならではの取り組み方で新たな価値を創造し、事業の更なる成長・拡大を目指す。



※「TRY1」の取り組みについてはP3~5をご覧ください。